

雰囲気電気炉マニュアル

平成 28 年 4 月

福田 雅文

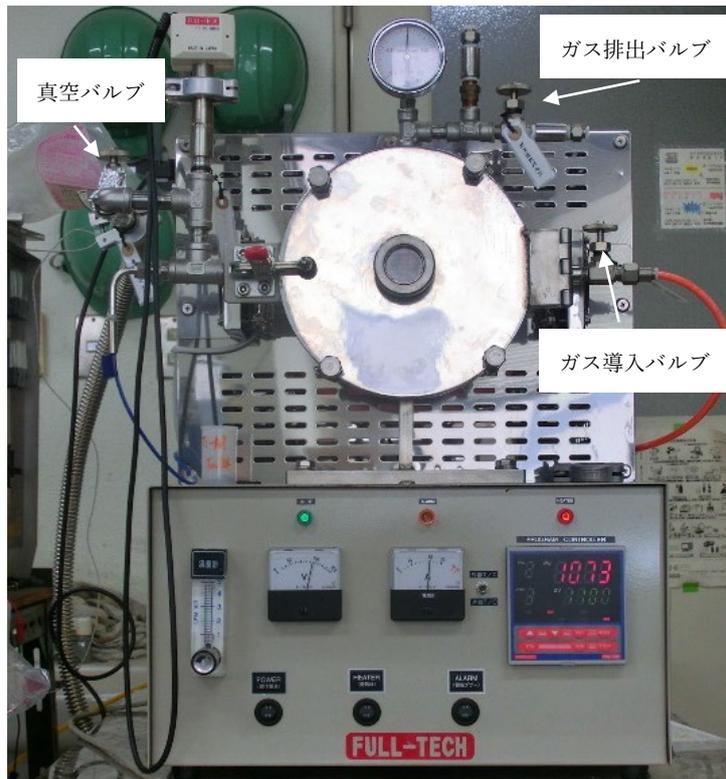


Fig. 1 雰囲気電気炉

手順

- ① 供試材を配置する。
- ② 炉内をクランプを用いて密封し、ロータリーポンプを起動して真空引きを行う。
- ③ 真空計で真空度を測定し、3.2 Pa 以上の真空度が得られていることを確かめる。
- ④ 真空バルブを閉じる。
- ⑤ ガス導入バルブを開け、Ar ガスを導入する。

- ⑥真空計で真空度が大気圧になっていることを確認する.
- ⑦ガス排出バルブを開けてガスフローする.
- ⑧Ar ガスの導入量を 10 mL/min に調整する.
- ⑨電気炉に通電し加熱を行う. 加熱条件は PC 上で設定する.
- ⑩加熱終了後, ガス排出バルブとガス導入バルブを閉める.
- ⑪ロータリーポンプを起動し, 真空引きを行う.
- ⑫真空引きを継続したまま試料の冷却を行う.
- ⑬十分に試料を冷却した後, ロータリーポンプを停止する.
- ⑭ガス排出バルブを開け, 炉内に大気をリークする.

※ 加熱中は炉が高温になっているため、手を触れないようにすること

※ 加熱後は Ar ガスの導入を確実に止めること